京都ふるさとの集い 連合会ニュース

発行　昭和60年10月30日　1号
発行所
「京都ふるさとの集い連合会」事務局
〒604 京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞文化センター
地域調査部内
TEL 075-222-2323（直）

在洛31県人会が結集!!

「京のふるさと連」発足へ

京都で活躍する全国各県人会が結集し、「京都ふるさとの集い」連合会＝略称・京都ふるさと連＝を発足させることになり、10月30日夕、京都市中京区の京都ホテルで結成総会を開きます。去る8月28日、31県の県人会代表が一堂につどい、今後、各県人会が手をにぎりあい、ふるさとの交流に力を入れていくことなどを申しあわせたのを受けて、連合会設立への運びとなったもので、県人会の連合組織は愛知、東京についで全国3番目となります。

林田知事と懇談する各県人会代表（8月28日、ホテルフジタで）

連合組織　全国で三番目

きょう（30日）結成総会

連合会発足へのきっかけとなったのは昨年、京都新聞日曜版に掲載された連載企画「ふるさとの集い」。京都にある各県人会などを紹介したのを機に、新しい県人会が誕生するなど県人会活動がひろがるとともに、各県人会に相互の親睦と交流をはかろうとの機運が高まり、8月28日夕、京都市中京区のホテルフジタに各県人会の代表が参加して懇談会が開かれました。

懇談会には、北海道から鹿児島まで31県人会の代表が参加し、連合会の組織や運営方法などについて協議。事業として会報の発行や交流会の開催などを、また事務局を京都新聞文化センターに置くことなどを決めました。

また、懇談会には京都府の林田悠紀夫知事、荒巻禎一副知事、京都新聞社から坂上守男社長らが出席。林田知事は「京都府としても今後、各県人会と接触を深め交流していきたい」、坂上社長は「連合会や各県人会の活動が活発になるようお力添えしていきたい」と、それぞれ連合会発足に向けての祝辞を寄せました。

30日の結成総会当日は、各県人会の代表約三百人が参加。会則案の審議や役員選出のあと、懇親パーティーに移りますが、来賓として林田知事、今川正彦京都市長、荒巻副知事、坂上京都新聞社社長らも出席。連合会の発足を祝うことになっています。

二面に「京都ふるさとの集い連合会」加入の県人会名簿、および県人会懇談会（8月28日）の出席者名簿を掲載。

ふるさとパワー

――京都府知事　林田悠紀夫

京都府内には、各県ご出身の方々が大勢ご活躍中であり、またそれぞれ県人会を組織され、冬の都大路を郷土カラーで包む「京都女子駅伝」での熱心な応援など県人会の皆様方の〝わがふるさと〟に寄せられる意気込みには、いつも大きな関心と敬意をもって見守らせていただいているところであります。

この関心をさらにかき立てていただいたのが、昨年5月から今年2月にかけて京都新聞日曜版に連載された「ふるさとの集い」の企画記事でありました。各県人会の活動やそのメンバーの紹介の中には、それぞれのお国柄はもちろん、各界でご活躍中の方々の意外な一面やあるいは連綿と続くふるさとの人脈と京都とのかかわり合いなど、皆様方のふるさとを思う熱い思いに圧倒されながら、毎回、興味深く拝読させていただいておりました。

このたび、この連載企画がきっかけとなって「京都ふるさとの集い連合会」が発足の運びとなり、また、会報も発行されることになりましたことは、県人会の相互交流と親睦を図るうえで大いに意義のあることであり、非常に喜ばしいことと存じます。

京都は今、63年の京都国体の開催をはじめ関西文化学術研究都市の建設など21世紀を展望する数多くの課題と取り組んでおりますが、皆様方の第二のふるさとになるべきこの京都の活性化のために、県人会等で発揮されておられる〝ふるさとパワー〟とでもいうべきそのお力とお知恵を大いにお貸しいただきたいと存じます。

また、そのためにも新たに発足されましたこの「京都ふるさとの集い連合会」が大いに発展され、有意義な活動を展開されますことを心から期待いたしまして、お祝いの言葉といたします。

秋田県が県人会結成へ

京都ふるさと連へも参加

秋田県出身の京都、滋賀在住者約三十人が10月19日、京都市東山区四条大橋東、レストラン「菊水」に集まり、京都に県人会をつくるため創立準備委員会を発足させました。

東北6県のうち秋田県だけに県人会組織がないため、出身者の間で設立機運が高まっていたもので、発起人の中から世話役七人を選び、世話役代表には大江豊治郎氏が決まりました。

創立準備委員会では正式に県人会を結成したあとは、京都ふるさとの集い連合会にも加入する予定とのことで、ふるさと連の結成総会にも世話役ら九人が出席の予定です。

なお、連絡先は世話役代表の京都市上京区椹木町通黒門東入ル大江豊治郎氏方＝電話075(811)7330＝。

「京都ふるさと連」事務局を京都新聞文化センターに

「京都ふるさとの集い連合会」の発足にともない、同連合会の事務局を京都新聞文化センターに設置することが決まりました。

各県人会代表の懇談会で決まったもので、事務局では連合会と各県人会の連絡事務のほか、総会や交流会などの開催、会報の発行業務などを行います。また、会員相互の親睦と交流をはかる各種事業や「キャプテン」による「ふるさとへのメッセージ」など、多様なサービスを展開していく予定です。

なお、事務局への連絡、ご意見などは左記まで。

〒604　京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞文化センター
地域調査部（京都ふるさと連事務局）
電話　代　二二二一二二二番
直　二二二一二二三番

「ふるさとの集い」

―京都の県人会―　刊行

在洛の38団体を網ら

京都新聞文化センター出版部は、京都ふるさとの集い連合会の結成を記念し、京都新聞に連載した「ふるさとの集い・京都の県人会」（亀井励京都新聞編集委員執筆）を一冊にまとめて出版、まもなく刊行します。

この本の内容は、昨年5月から今年2月まで京都新聞日曜版に好評連載したもので、北は「北海道クラブ」から南は「鹿児島県人会」まで在洛38の県人会をとりあげ、県人会の活動、役員の顔ぶれなどを紹介、最後は関係者の座談会でしめくくっています。この連載がきっかけとなって、県人会の横のつながりが生まれ〝京都ふるさと連〟の誕生を見ました。

体裁はA5判、定価1200円。購読申し込みは京都市中京区烏丸通夷川上ル、京都新聞文化センター地域調査部内、京都ふるさとの集い連合会事務局（電話075―222―2111代）または京都新聞販売所、各書店などで受け付けます。

題字は林田京都府知事

祝・京都ふるさとの集い連合会 発足
北海道物産展
●11月1日(金)から6日(水)まで
●7階催会場にて開催！
〈同時開催〉食品 味のびっくり市
ふるさとの香り
どっさり。
塩干物／農産物／昆布／生珍味ほか
京都 近鉄
きょうと駅前
TEL.(075)361−1111

交流深め郷土の発展へ

各県人会代表の懇談会

懇談会後のパーティー風景

各県と連絡を密に

「京都は総合的なまち。いわば日本のまちであり、各府県との縁は深い。京都府としては各県人会と連絡を密にして、今後、府政を運営してまいります」

各県人会代表が集う8月28日の懇談会の席上、林田知事のあいさつに拍手がわいた。

「ふるさとを想われる心情は、ずい分深いものがありましょう。私も終戦時、外地にあったとき〝誰か故郷をおもわざる〟をうたい、ふるさとを偲んだものです」

林田知事につづいて、各県代表から、活気に満ちた発言があいついだ。

林田京都府知事

郷里と京を大切に

「我々は郷里をもつた京都人。ふるさとも大事だが、現に生活している京都も大事。京都は第二のふるさと」

伊東京都大分県人会会長

和やかに〝友好の輪〟

「連会の結成で大きな輪がひろがり、この輪を火が燃える如く発展させて…」

「出身県との友好、発展とともに、京都の発展に寄与するも県人会の使命…」

郷土愛に燃え、京都の発展を願う〝ふるさとパワー〟の噴出に、会議後に開かれた懇親パーティーは、はや連会が発足したかのような、和やかなムード。

「地域社会への貢献を願う京都新聞社としましても、できるだけのお力添えをしていただいたい」

坂上京都新聞社社長

熱気に打たれて坂上京都新聞社長のあいさつも力がこもれば、荒巻副知事もこの日ばかりは福岡県出身の〝ふるさとメンバー〟として、かみしもぬいでのくつろいだ雰囲気、長老の京都大分県人会長、伊東祐純氏の乾杯につづくパーティーは、談笑渦巻くなかで何時はてるとも知れず、連会発足に向けて幸先よいスタートを切った。

なお、連合会事務局では、会報の発行を手はじめに、「ふるさとの集い・京都の県人会」の出版や懇親をかねての新年パーティーなど多彩な催しを計画している。

「会報」発行や多彩な催し

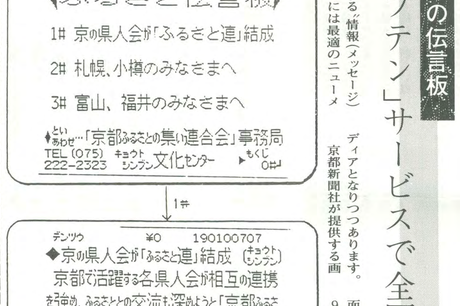
ふるさとへの伝言板

「キャプテン」サービスで全国へ

ふるさとへのメッセージを新しい情報メディア「キャプテン」で――「京都ふるさとの集い連合会」が発足するのを機に、「キャプテン」のIP（情報提供者）である京都新聞社が保有の画面を提供し、「ふるさと伝言板」をスタートさせました。

「キャプテン」サービスはNTTが昨年11月、首都圏と京阪神地区で開始。これまでに名古屋、金沢、新潟、熊本、大分の各市で実施され、10月からは札幌、小樽両市で、11月からは富山、福井両市でもサービスがはじまるなど、全国を対象とする〝情報（メッセージ）伝達〟には最適のニューメディアとなりつつあります。

京都新聞社が提供する画面は「ふるさと伝言板」で、9月上旬「京都ふるさと連合会」が発足したのを機に、「京都ふるさとの集い連合会」事務局の「ふるさとの伝言板」を新しくスタートさせました。



「京都ふるさとの集い連合会」の結成を報じたキャプテン画面「ふるさとの伝言板」

京都ふるさとの集い連合会

（敬称略）名簿

	県人会名	会長名（役職名）		県人会名	会長名（役職名）
北海道・東北	京都北海道クラブ	森下　弘	中国	島根県人会	津田晴一郎
	青森県人懇話会	松田武志		岡山県人会	田辺哲崖
	岩手県人会	大竹　修		広島県人会	榊田　博
	宮城県人会	佐藤健夫		山口県人会	内良義勝
	山形県人会	本間昭之助	四国	徳島県人会	美馬　陽
	会津会（福島県人会）	珊瑚実（総務）		京都さぬき会（香川）	安藤滋邦
北陸・甲信越	新潟県人会（舞鶴）	谷沢要兵衛		高知県人会	川本直水
	京都新潟県人会	大沼健三	九州	福岡県人会	永末英一
	富山県人会	竹田信一		佐賀県人会	中尾芳雄
	石川県人会 京都連合会	室谷喜作		長崎県友会	松尾平市
	福井県人会	長谷川実		熊本県人会	立石一真
	長野県人会	篠原邦臣		大分県人会	伊東祐純
東海・近畿	岐阜県人会	近藤与吉		宮崎県人会	山下猛夫
	静岡県人会	秋山公道		鹿児島県人会	稲盛和夫
	滋賀県人会	吉村孫三郎		長崎県人会	泥谷　文
	和歌山県人会	浜野練太郎（代表世話人）			

（10月25日現在）

県人会懇談会出席者

敬称略

1. 京都北海道クラブ　南　清隆（常務理事）
2. 京都青森県人懇話会　松田武志（会　長）
3. 京都岩手県人会　渡辺精記（副会長）
4. 京都宮城県人会　佐藤健夫（会　長）
5. 京都山形県人会　松本顕龍（副会長）
6. 京都会津会　珊瑚　実（総　務）
7. 京都新潟県人会　大沼健三（会　長）
8. 舞鶴新潟県人会　谷沢要兵衛（会　長）
9. 京都富山県人会　竹田信一（会　長）
10. 石川県人京都連合会　田嶋長作（副会長）
11. 京都福井県人会　古田正治（常務理事）
12. 京都長野県人会　篠原邦臣（会　長）
13. 京都岐阜県人会　中島晴彦（常務理事）
14. 京都静岡県人会　杉山　修（理事長）
15. 京都三重県人会　欠　席
16. 京都滋賀県人会　増山義三郎（副会長）
17. 京都和歌山県人会　浜野練太郎（代表世話人）
18. 京都鳥取県友会　浜田善太郎（幹事長）
19. 京都島根県人会　松本定雄（幹　事）
20. 京都岡山県人会　田辺哲崖（会　長）
21. 京都広島県人会　榊田　博（会　長）
22. 京都山口県人会　内良義勝（会　長）
23. 京都徳島県人会　美馬　陽（会　長）
24. 京都さぬき会　安藤滋邦（会　長）
25. 京都愛媛県人会　欠　席
26. 京都高知県人会　大西健二（幹　事）
27. 京都福岡県人会　宮崎琢磨（副会長）
28. 京都佐賀県人会　中島豊治郎（副会長）
29. 京都長崎県人会　泥谷　文（会　長）
30. 京都長崎県友会　欠　席
31. 京都熊本県人会　藤本忠雄
32. 京都大分県人会　伊東祐純（会　長）
33. 京都宮崎県人会　山下猛夫（会　長）
34. 京都鹿児島県人会　有村政洋（事務局長）

新聞にのらない県からのたより

北海道　青森　岩手　宮城　山形　福島　新潟　富山　石川　福井　長野　岐阜　静岡　三重　滋賀　和歌山　鳥取　島根　岡山　広島　山口　徳島　香川　愛媛　高知　福岡　佐賀　長崎　熊本　大分　宮崎　鹿児島　秋田

札幌の「好きです―」が大受け

北海道

「好きです Sapporo」のキャッチフレーズのついたビール、お菓子などの商品が大受けしている。このイメージ・コピーを作った札幌観光協会には「うちの商品にも使わせてほしい」という要請が絶えないという。

同協会では1品目1社を原則に申請を受け、使用を許可して出しているのは89社。おみやげはもちろん、ビール、アイスクリーム、即席ラーメン、ハムなどさまざまだ。最初は小さな企業が多かったが、今年許可を受けた9社をみると大手食品メーカー1社を目立ち、成功例のなかには缶ビールの売り上げを前年に比べて20%伸ばしたメーカーもあるという。

子孫にタイムカプセルで酒保存

長野

今年のお酒を21世紀の子孫にプレゼント―長野県佐久地方の酒造15社で組織する佐久酒造協会が、25年後の後継者たちに自信の日本酒を味わってもらおうと、このほど酒を詰めた1升瓶180本を合成樹脂製のタイムカプセルに入れて地中保存した。

日本酒は市販されているものと同じ原酒、純米酒、吟醸酒など6種類、カプセルには各社が種類ごとに2本ずつ持ち寄った計180本と酒造技術を書いたメッセージ、原料米、日本酒の分析表などが窒素ガスとともに納められてある。

開封は25年後の2010年と50年後の2035年に半分ずつを予定。酒造協会では「50年後の酒は甘いのか辛いのか…」と子孫がカプセルの酒を口にする日を楽しみにしている。

四国工試が海藻から紙を試作

香川

通産省四国工業技術試験所（高松市）はこのほど、コンブなどの海藻に含まれているアルギン酸から紙の試作に初めて成功した。この「海藻紙」は、止血剤などの薬用紙としての利用が考えられるほか、紙の繊維内に微生物や酵素を〝生きた〟まま閉じ込められることから、バイオテクノロジー（生物工学）への応用も期待されている。

アルギン酸は、コンブやアラメなど褐藻類の主成分。現在、胃カイヨウの治療薬や歯科用の止血剤、歯磨きの添加物などに使われている。

健康にのゴルフ場〝はだし〟

青森

健康のために、はだしでゴルフを―。こんなユニークなゴルフ場「雲谷ヘルスパークゴルフ」がこの夏、青森市郊外にオープンした。その名の通りパットのみの小規模なものだが、家族連れや若いカップルなどでにぎわっている。

考え出したのは、青森市内で観光ブドウ園を経営する川越清昭さん（56）。3年前、子どもの遊び場としてブドウ園横に植えた芝生の上をはだしで歩いた感触がさわやかだったことから、スポーツをしながらきっと健康によいのでは、と〝はだしのゴルフ場〟を思いついた。

ゴルフ場は100アールあったブドウ園のうち80アールをつぶして造られ、3ートルから25メートルまで短い距離ばかりの18ホール。全ホールを約40分で回れる。

生きた魚介類を全国宅配

佐賀

松浦郡浜玉町の中山活魚（中山定善さん経営）が、イカやカニ、エビなど四季の魚介類を生きたままビニールパック化する技術を生かし、個人客を対象に全国へ配達するサービスを行い、付加価値の高いアイデア商法となっている。

活魚パックは、新鮮な魚介類を生きたうちに海水と一緒に厚手の40センチ四方のビニール袋に入れ、それに中山さんが特注した酸素を注入しながら包装する機械でパック化するもの。宅配の場合は箱詰め、宅配便、宅配便を利用して発送する。パック化が可能なものは、地元玉島川でとれるシロウオ、ツガニ、呼子に揚がるマダイ、イカ、ワタリガニ、車エビ、ウニ、サザエなど。

カニやエビ類はおがくず入りのパック化もでき、48時間はOK。魚類でも12時間は生きており、航空便を利用すると東京、大阪への宅配も可能という。

吉井町で自治体ワイン市販へ

岡山

過疎からの脱却を目指し、キャンペルワイン醸造社を設立。廃校となった小学校舎を利用してワイン作りを始めた。

生ビール

福岡

京都島根県人会総会　11月10日午前10時半、八坂神社常盤殿で。総会のあと郷土出身の直木賞作家宇江佐真理氏の記念講演など。林田知事も出席。会費三千円。

京都北海道クラブ秋の総会　11月13日午後6時、京都市中京区の京都労働者総会館内、ピヤレストラン・ハイコックで。森下弘会長あいさつのあと家族ぐるみの懇親会など。会費四千円（家族は三千円）。

京都佐賀県人会例会　11月17日午前11時、京都市東山区安井の霊山新温泉で。会費四千円。

短信

各県人会の総会や例会、あるいは各種行事など、会員の伝達にご利用ください。問い合わせは「京都ふるさと連」事務局まで。

祝　京都ふるさとの集い連合会発足！

もう走り始めています　21世紀へ―先進技術の日産
NISSAN
……セダンもコマーシャルカーも実力の日産……

ブルーバード4ドアハードトップ 1800ツインカムターボSSS-X
ローレル4ドアハードトップ V20ターボメダリストエミナンス
サニー4ドアセダン 1500スーパーサルーン
パルサー3ドアハッチバック ミラノX-1
スカイライン4ドアハードトップ GTパサージュツインカム24V

―北海道から沖縄までの……あなたの仲間が働く、京都地区日産自動車販売会社グループ―

京都地区 日産自動車販売会社グループ

日産は、あなたと力を合わせて
より良いカーライフを目指しております……
お近くの日産へ、お気軽にお立寄り下さい。
日産京都会　会長　荒木来治

京都日産自動車株式会社
本社／京都市南区京阪国道十条上ル　☎075(681)7111
取締役社長　村瀬昭夫
●プレジデント●ブルーバード●リベルタビラ●マーチ●レパード●フェアレディZ●ダットサンバネット●ブルーバードバン●ダットサンADバン●ダットサントラック●サファリ●アトラス●シビリアン（マイクロバス）●フォークリフト

京洛日産モーター株式会社
本社／京都市中京区西大路御池上ル東側　☎075(802)1111
取締役社長　小林幸夫
●セドリック●ローレル●ガゼール●ローレルスピリット●ブレーリー●セドリックバン●ブルーバードバン●ブレーリーエステート●キャラバン●アトラス●シビリアン（マイクロバス）●フォークリフト●サファリ●消防車●モーターボート●ヨット

日産サニー京都販売株式会社
本社／京都市南区京阪国道十条東南角　☎075(672)2332
取締役社長　清水輝久
●サニー●サニーハッチバック●サニーカリフォルニア●サニーバネット●サニーADバン●サニートラック●マーチ●スタンザFX●シルビア●サンタナ

日産チェリー京都販売株式会社
本社／京都市南区吉祥院久世橋東詰　☎075(672)0101
取締役社長　村瀬昭夫
●パルサー●オースターJX●レパードTR-X●マーチ●チェリーバネット●パルサーADバン

日産プリンス京都販売株式会社
本社／京都市南区吉祥院久世橋東詰上ル　☎075(691)4141
取締役社長　夏秋伸一郎
●クロリア●スカイライン●ランクレー●ブレーリー●クロリアバン●スカイラインエステート●ブレーリーエステート●ホーミー●アトラス●サファリ

北から南から…

第4回全国都道府県対抗 女子駅伝競走大会

主催　日本陸連、京都新聞社
日時　**昭和61年1月19日**(日)
コース　出発・決勝点は西京極競技場。9区間42.195キロ
参加　全国47都道府県チーム

駆けろ！郷土のランナー

ホットな応援合戦

全国女子駅伝 第4回

ふるさとの夢乗せて

都大路をめざす各地の女子ランナーにとって、この11月は「秋の陣」といったところ。どの都道府県でも代表を選ぶ選考会がたけなわで、大会を主催する京都新聞社にも各地から続々〝女子駅伝便り〟が届きはじめました。10月末には佐賀、岩手で早々と代表の顔ぶれが固まり、11月も半ばを過ぎると、冬の早い北国勢の代表争いは一斉に大詰めに入ります。

魅力ある新コース

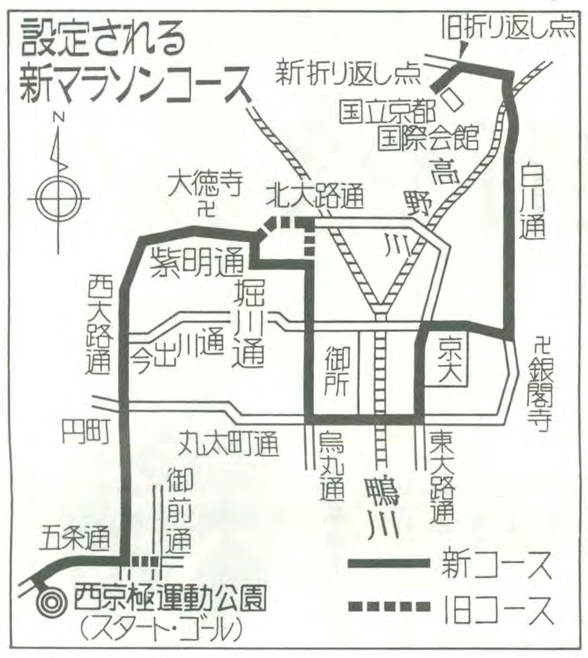
大会準備の方も京都陸協、京都新聞社などで着々進んでいますが、今度の第4回大会から大会コースが部分修正され、スタート、ゴール地点が3年ぶりに西京極陸上競技場に戻りました。63年の京都国体に備えた新装工事が今夏完了。これを機にコース全般を見直し、以前から懸案になっていた折り返し点をすっきり国立京都国際会館前（従来は同大グラウンド前で折り返していた）に引き入れることになりました。途中では、これまで北大路通から直接烏丸通に入っていた部分が堀川通―紫明通をう回し、烏丸通に入るコースに変り、従来の五条通の折り返しも解消されます。観戦、応援で賑わう各中継点の方も、これに伴い、それぞれ100―500メートル国際会館側にズレることになります。

新コースはすでにマラソンコースとして公認も受け、京都陸協の沢田利夫理事長によれば「金閣寺、銀閣寺、御所などを巡る京都の魅力をたっぷり織り込んだところはそのまま。現在の京都で望める最高のコース」だと話しています。まして西京極競技場は高校駅伝の発着点でもあり、全国のランナーたちに「駅伝のふるさと」と親しまれています。

「ふるさと」に戻った新しいコースで女子ランナーたちの力走を、いっそう盛り上げてくれましょう。

これまではスタート、ゴール地点での応援も仮設スタンドでしたが、これも晴れて競技場のスタンドに陣取り、応援合戦を演じることができるようになります。メーンスタンドだけで6500人の収容が可能で、カラフルな各県人会の旗、ノボリが並び、お国柄たっぷりの声援が飛びましょう。

「ふるさと対抗」のこの駅伝ならではのホットな応援合戦を見るのが、今から楽しみです。大会事務局では特にスタンドの場所割りはせず、「自由に応援を」との方針といっています。



激走!!精鋭ぞろい

さて、各地の代表争いですが、やはり雪の早い北国勢の動きが今回も早く、9月22日には東北各県のエースたちが盛岡市に集い「御所湖女子マラソン(10キロ)」が行われました。昨年に続き青森のエース・前川原(東北福祉大)が優勝しましたが、2位に入ったのが福島の高橋邦子（緑ケ丘高教）。高橋は昨年、郷里にUターンしたのを機にカムバックした29歳のベテランで、〝東北人の粘り〟を地で行くような力走に沿道は大いに沸いたということです。秋田、宮城では春から始めた選手育成が実り、有望な高校生が次々に生まれており、これまで以上の〝北国旋風〟を期待してもよさそうです。

前回14位に飛躍した富山からは、面白いホットニュースが伝わってきています。前回喜んで帰県すると、さっそく県庁に呼ばれて知事らに温かい祝福を受けたとか。監督によると「それで、今年は最初から選手の意気込みが違う」そうで、9月の第1次選考会では県高校記録を破る選手が続出。「今回はひょっとすると、もっと上を狙えるかも」と、県の指導陣を驚かせています。

南からも「山口が強い」「鹿児島は優勝できるかも」と、いろんな便りが届いており、まさに47都道府県のどこもが〝秋の陣〟のまっ最中のようです。

（京都新聞社運動部　森田信明記者）

全国の滋賀県人に向け「江州音頭教室」をテレホンサービス

☎0748・24・3730

ヨイトヨイヤマカ
どっこいさのせ～

全国の滋賀県人に向けて、江州音頭発祥の地である八日市のNTT八日市電話局が、このほどテレホンサービス「江州音頭教室」をはじめました。

テープから流れてくるのは、音頭が桜川小梅勇師、囃子方が鶴遊会による「大久保三世伝」。10日ごとにテープはとりかえるそうで、同電話局では「ふるさと近江を紹介するときや、県人仲間の集いなどにご利用を」といっています。

電話番号は0748―24―3730番

京都新聞連載
ふるさとの集い
京都の県人会
亀井励編集委員執筆
北海道から鹿児島まで
在洛県人会を網羅紹介
A5判　一、二00円
●お申し込みは京都新聞文化センター地域調査部内京都ふるさとの集い連合会事務局〈電075(222)2111〉へ。
●発行元
京都新聞文化センター出版部
京都市中京区烏丸通夷川上ル　京都新聞社内

祝　「京都ふるさと連」発足
宝石・時計・メガネ・雑貨
寺内
寺内ビル・北店・ポルタ店